

哲学 〈 P 4 〉

教員名

教養・医学教育大講座 哲学

准教授 竹山 重光

I 一般学習目標

科学哲学ならびに科学史的観点から、「病気」という事態とそれに対する理解の諸相を、できるかぎり具体的事例に即して理解する。これを通じて、自然科学的な営みの思考様式などを理解する。

II 個別学習目標

1. 「病気」の原着想 (proto-ideas) を相互の相違とともに説明できる。
2. 具体的事例をめぐってなされた諸探究の大筋を説明できる。
3. 自然科学的探求の諸モデルを説明できる。
4. 「発見」と呼ばれる事態の諸相を説明できる。
5. 因果関係の諸相を理解し説明できる。

III 教育内容

この講義は、たとえば放送大学などでなされているような、ほぼ完全に一方通行のやり方で行なわれるのではない。哲学や倫理学という学問分野は、そういうやり方が最もなじまない分野の一つである。この講義は事項伝達をするのではない。思考を展開する試みである。

私は授業時間中に君たちにしばしば質問する。いわゆるコメント・ペーパーを書かせることもある。講述内容の大きな区切りにおいて、中間試験的なものを行うこともある。そして、それらの結果や君たちの反応を鑑みて、講述内容を取捨選択したり、講述順序を変更したり、講述の濃淡を変化させたりする。現在なされている最新の議論を紹介することもある。

したがって、いついつの授業ではこれこれの内容を取り扱うなどという仕方で呈示することは、この講義については不適切であり、無理やりそうするとしたらむしろ不誠実である。倫理学や哲学の場合、そういう仕方にそもそもそれほど意味はないゆえ、以下に掲げる表はきわめておおざっぱな目安でしかない。変更はありうる。

講義日程表

No.	月日	曜日	時限	項目	担当
1	09/27	月	1	病気という現象(自然現象か価値現象か)など	竹山
2	10/04	月	1	病気の現着想など	竹山
3	10/11	月	1	病気の説明と科学的説明など	竹山
4	10/18	月	1	科学的説明の諸モデルなど	竹山
5	10/25	月	1	科学的説明の諸モデルなど	竹山
6	11/01	月	1	自然科学の経験主義と一般主義など	竹山
7	11/08	月	1	病気の原因という概念など	竹山
8	11/15	月	1	病気の予防という概念など	竹山
9	11/22	月	1	因果関係とはどういう関係かなど	竹山
10	11/29	月	1	因果の実質をめぐる諸理解など	竹山
11	12/06	月	1	因果の実質をめぐる諸理解など	竹山

12	12/13	月	1	因果の実質をめぐる諸理解など	竹山
13	01/17	月	1	決定論的理解から確率論的理解へなど	竹山

IV 学習および教育方法

プレゼンテーション・アプリケーションを用いた講述形式。紙媒体配布物も用いる。さらに上記Ⅲの文章も参照。

授業中に用いた補助手段の一部（スライド）は次に記す竹山の公式 Web Site で公開する。

<http://edu-pdc.edu.wakayama-med.ac.jp/kyweb/kantake/index.html>

V 評価の方法

筆記試験 100%が原則。中間試験的なものなども行なえば、それも算入する。

VI 推薦する参考書

ここでは特に指定しない。授業中に適宜紹介する。